

子どもくらしうた

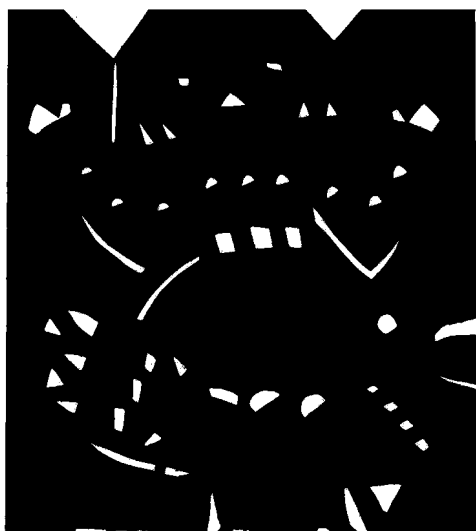
佐々木たづ

絵 田代三善



子どもくらしうた

佐々木たづ 絵 田代三善



913

佐々木たづ

子どもくらしうた

講談社 1979

134p 22cm (児童文学創作シリーズ)

ささき たづ

子どもくらしうた

昭和54年12月12日 第1刷発行

定 価 850円

著 者 佐々木たづ

発行者 野間省一

発行所 株式会社 講談社

東京都文京区音羽2-12-21 郵便番号112

電話 東京03(945)1111(大代表)

振替 東京8-3930

印刷所 廣済堂印刷株式会社

双美印刷株式会社

製本所 株式会社黒岩大光堂

© Tazu Sasaki 1979 Printed in Japan

落丁本・乱丁本はおとりかえいたします。

8093-190077-2253 (0)

(児一)

もくじ



元旦 がたん
 寒 かん
 七草 ななくさ
 こま
 すいせん
 かおり
 つらら

8 お手玉
 9 しもやけ
 10 せき
 11 節分 せぶん
 12 立春
 13 ひなまつり
 14 けいちつ

16
 18
 19
 20
 21
 22
 24



さがしもの	26	ドーナツ	50
つくし	27	カッコウ	52
お彼岸 ひがえ	28	風	54
花まつり	30	うめぼし	56
地面 じめん	31	まな板 まな	58
お花見	32	へちま	60
そろばん	34	とらの子	62
じゃぐち	37	かき	65
はし	38	らっきょう	66
竹の皮 たけのかわ	41	お日さま	68
八十八夜	44	たなばた	71
端午 たんご の節句 せきぐ	45	夏まつり	72
こいのぼり	46	うしの日	74
ジャンケンポン	48	すず	75

八月

76

はないかだ

るすばん

77

くつべら

おうつり

78

おむすび

馬ふん

80

ゆめ

えんぴつ

81

七五三

あらし

82

立冬りゅうとう

お月見

84

葉はっぱ

ひがんばん

86

落ち葉おちば

空

87

なんてん

くり

88

かがみ

星

90

手ぶくろ

雨

92

白菜はくさいづけ

あみもの

93

たくあん

秋

94

冬至とうじ

120

118

115

112

110

108

106

105

104

102

100

99

98

96

うどん
クリスマス
すずり
たたみ

126 124 122 121

ゆき
おみそか
あとかき

132 130 128



子どもくらしうた



元旦がんだん

めでたいめでたいお正月
おわった年は もうしまり
あらたに開ひらいた この年は
なんでも書ける 白い紙
光りまばゆい この道を
希望きぼうにみちて 歩きます

元旦がんだん
「一月一日」のことで元日ともいいます。一月一日が太陽暦にもとづいたのは、明治六年からです。この日は国民祝日こくみんしゆじつで年のはじめをいわいます。

寒^さ

カラカラさむい 寒^さの入り

かじかむお手々に いきかけて

寒^さのけいこの かよい道

風にむかつて かけていく



寒^さ

一月六日（年によって五日のこともある）から、節分までを寒^さといい、寒^さがきびしくなることを意味します。小寒^{こかん}・大寒^{たいかん}とあり、いずれも中国で季節^{きせつ}のうつりかわりに合わせて一年を二十四等分^{じゅうにふとうぶん}した二十四節気^{じゅうにふしちせいき}の一つです。

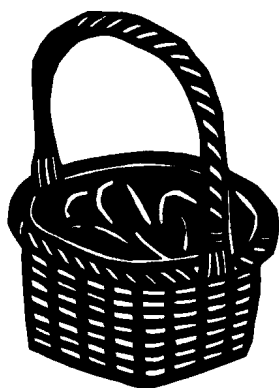
七草ななくさ

な 七日七草なにか ななくさ なんのため

な なっぱ七色ななっぱ なないろ かゆに入れ

く 食うて いわうて すこやかに

さ 幸さいちおおかれと いのるため



春の七草はるのななくさ

セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコ
ベラ・ホトケノザ・スズナ・スズ
シロをいいます。この春の七草を
入れたかゆをにいていわう行事は
古代中国からつたわり、万葉時代
からおこなわれています。

こま

人さしゆびと おやゆびで

クツと まわした こまのよう

広い 宇宙うちゅうの そのなかで

地球ちきゅうの こまは まわります

こまの もようが まわるよに

まわる 地球ちきゅうの その上で

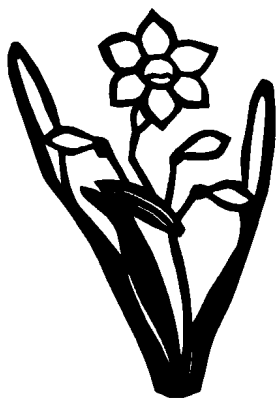
赤 白 黄色と 黒の色

みんな なかよく とけあつて

地球ちきゅうの こまを かざります

すいせん

土つめたくても かたくても
すいせんの葉は スツと出る
細く平たい こいみどり
三つ四つよってさく花は
黄金のさかずき みなもつて
すこしうつむき 冬の氣に
春のかおりを おくりだす



かおり

かおるお花はなんでしょう

ユリ バラ キクにフリージア

そうそうスズランかかります

キンモクセイに ジンチョウゲ

クちなシ スイセン ライラック

ウメのかおりの ふくよかさ

空気もひえびえ冬の日

ウメの林に たたずむと

この世のものは思えない

気高いかおりに つつまれる

つらら

ひさしの下から つららがはえて
地面へむかつて ゲングンのびる
屋根の雪が 日なたぼっこして

うっかり水に もどったものも

みんな集めて つららは育つ

つららって こんなにはば広いものか

上は広くて 下がたって

まるで氷の三角剣

あれでつらは ゲングンのびて

グサリと地面を さすつもりだろうか

すると つらが ニヤリとわらい